

南小たば風通信 2019

令和2年2月26日 第32号

研究の反省をします！

今年度、最後の研究日です。1年間の反省、次年度に向けての話し合いを行います。たくさんのご意見をお願いします。以下のような流れで行います。

《話し合い》 15:15～ サブルーム

1. 研究部より（15分） 「成果と課題」「次年度へ向けて」「CRTの結果から」

2. グループ討議（30分）

◆各ブロックでの検討事項

①今年度の研究内容（特に仮説と子ども像の達成がなされたか）について

②CRTの結果等を受けた次年度の研究内容について

③次年度の公開研究会・授業研・板書交流について

④その他・・・研修でやって欲しいことなど

低学年	三上先生・星先生・飯高先生・増田先生・十河先生・山本
中学年	齋藤先生・荒谷先生・加藤先生・牛谷内先生・教頭先生
高学年	稲船先生・佐藤先生・島村先生・押見先生・塩崎先生・校長先生

※研究部を中心に話し合う。

3. 全体交流（10分：各3分程度）

4. 教頭先生・校長先生より（5分）

16:15 終了予定

1. 研究の重点・主題・仮説について

○仮説については、課題に対して見通し（目的意識）をもって学習が進められたり、楽しく学習が進められたりしたことから、概ね達成できた。

△「適切な対話」「適切な言語活動」の理論研修を不足していた。

※ピクトグラムを活用については、つけたい力を明確にさせるためのものなので、適切に組み込むことで「主体的・対話的で深い学び」につなげるものと押さえない。

2. 子どもの変容

○先生方の意見からおおむね達成されたような感じはある。

△「自分の目標を立てる」ことについては、授業の中で意識して場面を設定しないといけない。振り返りの活用から次時の目標を立てることも必要である。

3. たば風プロジェクト①(児童の実態把握)

- 児童の実態を把握するのに、CRTの分析やアンケートは有効であった。
- 実態把握したことが、指導案にも生かされ、単元や授業を組み立てることにつながった。
- △様々な結果をもとに、普段の授業改善を進める必要がある。

4. たば風プロジェクト②(「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善と評価)

- 理論研究(対話について)や国語科の単元づくりはよかった。
- △学習評価の理論研修がもう少し工夫が必要であった。

5. たば風プロジェクト③(授業研究)

- 授業研の回数を精選したが、計画的に研究授業と授業交流が行われ、有意義な研修ができた。(多忙感の解消にもつながり、ゆとりもできた。)
- △板書交流会の進め方が曖昧になってしまった。
- △交流授業にも仮説の検証につながる視点を明確にすることが必要であった。
- ※板書交流会については、単なる指導案検討ではなく、よりよい研修とするためにも模擬授業として位置付けてはどうか。

6. たば風プロジェクト④(研究の成果とまとめ(たば風通信の発行))

- 授業後の報告や研修会の報告等もみなさんのご協力が進められた。
- ※昨年度の反省から、たば風通信のほかに、ミニ報告会も実施できた。
- △研究の中間報告の必要がある。

7. 公開研究会について

- 公開研究会については、概ねよかったと考える。事後研のパネルごとの進行役など、全員で協力しながら進めることができた。
- ※次年度も授業者が授業の準備だけに集中できる体制づくりをすすめたい。

8. その他

- 計画的にバランスよく研修会にも参加してもらうことができた。

9. 次年度に向けて

- ◎算数の研究としてはどうか。
 - ※子どもにどのような力を身につけさせるのか。
 - ※「教えて考えさせる授業」や「問題解決型授業」など指導法(南小スタイル)をどうするのか。
 - ※領域を絞るのか。
- ◎公開研究会は9月実施予定。
- ◎研究日や授業研究の進め方は、今年度をベースに設定してはどうか。

《国語CRTの結果》

2016年度《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	104	105	93	101	79	98	97	91	96
書	111	110	105	109	87	90	99	92	100
読	128	98	91	106	91	102	100	98	102
言語	104	102	95	100	98	96	98	97	99

2017年度《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	108	90	100	99	101	96	100	99	99
書	107	111	113	110	93	75	95	88	99
読	121	114	89	108	83	101	90	91	100
言語	103	104	110	106	95	110	101	102	104

2018年度《国語》

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	116	105	103	108	116	102	97	105	107
書	116	113	115	115	117	101	97	105	110
読	130	124	109	121	126	96	93	105	113
言語	108	108	116	111	119	103	100	107	109

2019年度(今回実施分)《国語》 ※指数平均値を記載

国語	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
話・聞	132	155	170	152	162	148	159	156	154
書	119	167	140	142	152	200	137	163	153
読	154	163	194	170	150	186	125	154	168
言語	131	150	180	154	165	169	115	150	152

【成果と課題】

- 授業改善が図られたことで、各領域全般の成績が向上したと考えられる。
- 朝読書と朝学習の定着により、文章を読む力が向上したと考えられる。
- ▲昨年度までとの比較は難しいが、全学年「書く」項目が少々低く出ており、「条件付きで書く」などの書く場面の設定を取り入れる必要性を感じる。

《算数CRTの結果から》

2016年度《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	113	105	90	103	100	106	92	99	101
技能	108	105	98	104	96	99	106	100	102
知・理	110	105	100	105	104	98	100	101	103

2017年度《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	115	103	116	111	98	94	95	96	104
技能	109	108	110	109	98	95	99	97	103
知・理	116	103	119	113	95	96	101	97	105

2018年度《算数》

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	128	112	107	116	114	101	91	102	109
技能	114	107	110	110	126	98	90	105	108
知・理	111	108	119	113	127	104	87	106	109

2019年度(今回実施分)《算数》 ※指数平均値を記載

算数	1年生	2年生	3年生	低平均	4年生	5年生	6年生	高平均	平均
数学的	132	207	174	171	164	171	138	158	165
技能	131	148	153	144	161	144	141	149	147
知・理	110	166	146	141	153	165	133	150	146

【成果と課題】

- 「教えて考える授業」の流れに効果が出ていることも考えられ、全観点で概ね安定した傾向が続いていると考えられる。
- ▲「教えて考える授業」の流れがどの学年もさらに身につくことで、確実な学力が身につくのではないかと考える。（さらなる授業改善を図る必要がある。）
- ▲観点別では、概ね安定しているが、国語の朝学習のような基礎的な力を身につけられるような時間や復習が必要である。

参考資料 《算数・領域別の全国比》

～上段が2017年度の数値 下段が2018年度の数値～

算数	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	中学1年	全校平均
数と計算	—	109	105	113	94	91	102
	110	110	110	117	99	94	107
量と測定	—	110	106	112	97	92	103
	112	115	119	126	95	77	107
図形	—	124	106	116	103	97	109
	118	89	110	125	98	94	106
数量関係	—	112	103	なし	97	112	106
	128	109	なし	127	122	89	115

参考資料 《算数・領域別の全国比》からの成果と課題

- 領域別では、「数と計算」「数量関係」が安定している傾向が見られる。
- ▲領域別では、3つの学年で「図形」、2つの学年で「量と測定」の落ち込みが見られ、どの単元が落ち込みがあるのかを確認し、補充する必要がある。
- ▲全校的に見ると高学年の内容が難しくなることもあり、学級平均が下がる傾向にあり、残りの日数で弱いところから補充する必要がある。